

百枚、越前綿五百把、院へ御大刀馬代銀三百枚、越前綿二百把、新院へ御大刀馬代銀二百枚、越前綿三百把、女院へ銀二百枚、越前綿三百把、女二宮へ銀百枚、越前綿百把、女三宮へ銀五十枚、越前綿百把、女五宮へ銀五十枚、今宮へ銀五十枚、越前綿百把進せられ、二條攝政康道公へ銀百枚、勾當内侍へ五十枚、兩傳奏へ大刀馬代銀五十枚つかはさる、若君より禁裏へ御大刀馬代銀三百枚、仙洞へ御大刀馬代銀二百枚、新院へ銀百枚、卷物十、女院へもおなじ、女二女三の宮へ銀五十枚づゝ、女五宮へ三十枚、今宮もおなじ、攝政康道公へ大刀馬代銀五十枚、内侍并に兩傳奏へ銀二十枚づゝつかはさる、

〔常憲院殿御實記^{十五}〕貞享四年三月五日、こたび京の御即位にて進獻の制を令せらる、

大内へ、三十萬石以上銀三十枚、十萬石以上二十枚、五萬石以上十枚、本院新院へ、三十萬石以上二十枚、十萬石以上十枚、五萬石以上五枚、中宮へ、三十萬石以上十枚、十萬石以上五枚、五萬石以上三枚、但五萬石以下にても四品以上は、上に同じく獻すべしとなり、四月七日、京御即位の慶賀使を立らる、保科肥後守正容奉はり、高家大澤右京大夫基恒差添命せられどもに暇給ふ、よて今上○東に城州國行の御大刀、銀五百枚、綿五百把、本院正明御大刀、銀二百枚、綿三百把、仙洞に備前延房の御大刀、銀二百枚、綿三百把、女院に銀百枚、綿二百把、女五宮に五十枚百把進せられ、攝政兼輝公○一に御大刀、銀百枚、兩傳奏に御大刀、銀五十枚づゝ、内侍に銀五十枚、大乳人に三十枚なり、

〔御昇壇記〕

一寶永八年二月二日、今般就御即位御元服、爲御祝儀東使榊原式部大輔、副使織田能登守到着、

十二日、參内院參、松平紀伊守同道就御即位從大樹公、○徳川家宣

禁裏江

眞御大刀安綱、袋淺黃地、縞珍紫裏、桐篋入、管木地、菊桐金紋蒔繪、